(9) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭57—109697

Mint. Cl.3

識別記号 103 庁内整理番号 6433-5D 砂公開 昭和57年(1982)7月6日

H 04 R 9/02 7/04 9/06

6433—5D 6835—5D 6433—5D

審査請求 未請求

(全 2 頁)

64スピーカ

20)実

額 昭55-187380

20出

願 昭55(1980)12月24日

⑩考 案 者 藤井直樹

匈実用新案登録請求の範囲

- 1 ボイスコイルとスピーカフレームを第1のダンパーで接続し、ボイスコイル上方に位置する 平板状振動板の外周とスピーカフレームを第2 ダンパーで接続し、前記ボイスコイルの振動を 円錐形ドライブコーンを介して前記平板状振動 板の駆動点へ伝達する平板型スピーカにおいて、前記ボイスコイルの内側に位置するセンターポールに一端が固定され、他端が前記円錐形ドライブコーンの内部に伸びる固定部を設け、 該固定部の前記他端と前記円錐形ドライブコーン内 周面とを環状のコルゲーションが形成されたダンパーを介して接続したことを特徴とするスピーカ。
- 2 ダンパーは、断面 V 型形状でかつ平板状振動 板の面がボイスコイルに対して直角となるよう に円錐形ドライブコーン内周面に配設された貼 付台に、貼着したことを特徴とする実用新案登

門真市大字門真1006番地松下電 器産業株式会社内

⑪出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

四代 理 人 弁理士 森本義弘

録請求の範囲第1項記載のスピーカ。

3 ダンパーは、円錐形ドライブコーン内周面に 配設されたドーム状環状体に、貼着したことを 特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載 のスピーカ。

図面の簡単な説明

第1図は従来の平板型スピーカの縦断面図、第2図は本考案による平板型スピーカの一実施例の 縦断面図、第3図および第4図はそれぞれ本考案 の他の実施例の縦断面図である。

1…センターポール付プレート、1a…センターポール、2…リング状マグネツト、3…トツププレート、4…ポイスコイル、5…ダンパー〔第1のダンパー〕、6…スピーカフレーム、7…円錐形ドライブコーン、8…平板状振動板、9…エッジ〔第2のダンパー〕、11…固定部、12.12′、12″…ダンパー、13…貼付台、14…ドーム状環状体。

第4図



